

◇ 696 丹沢縦走

期 日 2月19日(土)～20(日)

参加者 8名、本部会員お試し参加 3名、合計11名

コース 大倉—大倉尾根—塔ノ岳—丹沢山(泊)—蛭ヶ岳—キビガラ山—焼山

1日目

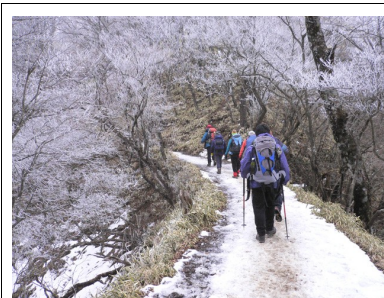
積雪期の丹沢山行は、なかなか楽しそうで、面白みもありそうだなと思われ参加してみました。私にとっては、ここは3回目の挑戦。9時30分大倉バス停から、いつもの山行準備で出発。天気が晴れてくれるのを願いながら長い大倉尾根へと上る。花立を過ぎる頃から積雪があらわれ眺めは得られず、ただ上るだけで塔ヶ岳に13時20分着。ここからは、いよいよアイゼン装着で北斜面の凍った雪上歩きも出てきて一層の緊張歩きになる。15時5分丹沢山山頂到着。眺めはなく近くにある“みやま山荘”へ。この山小屋3回目の泊で、建て替えてから大きな山小屋でなくなり今夜は満室だった。

2日目

7時30分小屋出。2日目ともなるとアイゼンと足がだいぶ慣れたようで丹沢山最高峰の蛭ヶ岳をめざし出発。今日も晴れ間なし。蛭ヶ岳へは尾根上を上り下りしながら樹氷の眺めや時にはミニエビの尻尾もあり、そのうちわずか一瞬「富士山」が顔を出し歓声をあげる。わずかでも見えただけうれしくなり、頂上迄への雪の着いた木道を一步一步登ると蛭ヶ岳頂上に10時5分到着。今日の登りはここ迄と皆で互に握手。北側の多い雪を踏んで一気に駆け下りる。アイゼンが不用なところ迄下るとホットする。そこからロングコースを焼山登山口までだらだらと下る。長いコースでおまけに雪上歩きで足に相当疲れがきたようだ。下山口についた時の皆の顔は縦走した満足感でいっぱい。帰りの下山講も一層有意義でした。

E 記

原小屋平付近で出会った若者が私達のパーティを「山レコ」に掲載してくれました。下記アドレスの写真23枚目が私達です。最後の行に注目です。よくわかっていますね、「tantanmame」さん。



金冷シ付近

霧氷の木々の中を進む。このあたりまではたくさんの登山者に出会いました。



丹沢山頂上

塔ノ岳を過ぎると急に人通りが少なくなり、静かな雪山山行になりました。



蛭ヶ岳への稜線

霧氷の花が咲く稜線を元気に進みます。



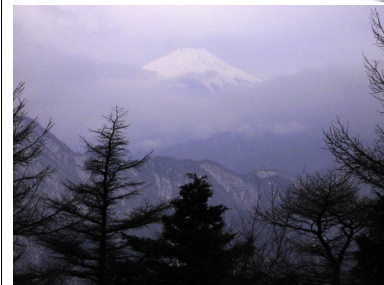
蛭ヶ岳頂上

神奈川県最高峰はけっこうな積雪でまさに冬山の気配。



蛭ヶ岳からの下山

北面はたっぷりの雪で皆さん実に楽しそうに下山してきました。



姫次からの富士山

最後にやっとゆっくりと富士山が姿を見せられました。